

DMG森精機株式会社

2019年度第1四半期決算説明資料

2019年5月8日

1. 第1四半期決算概要

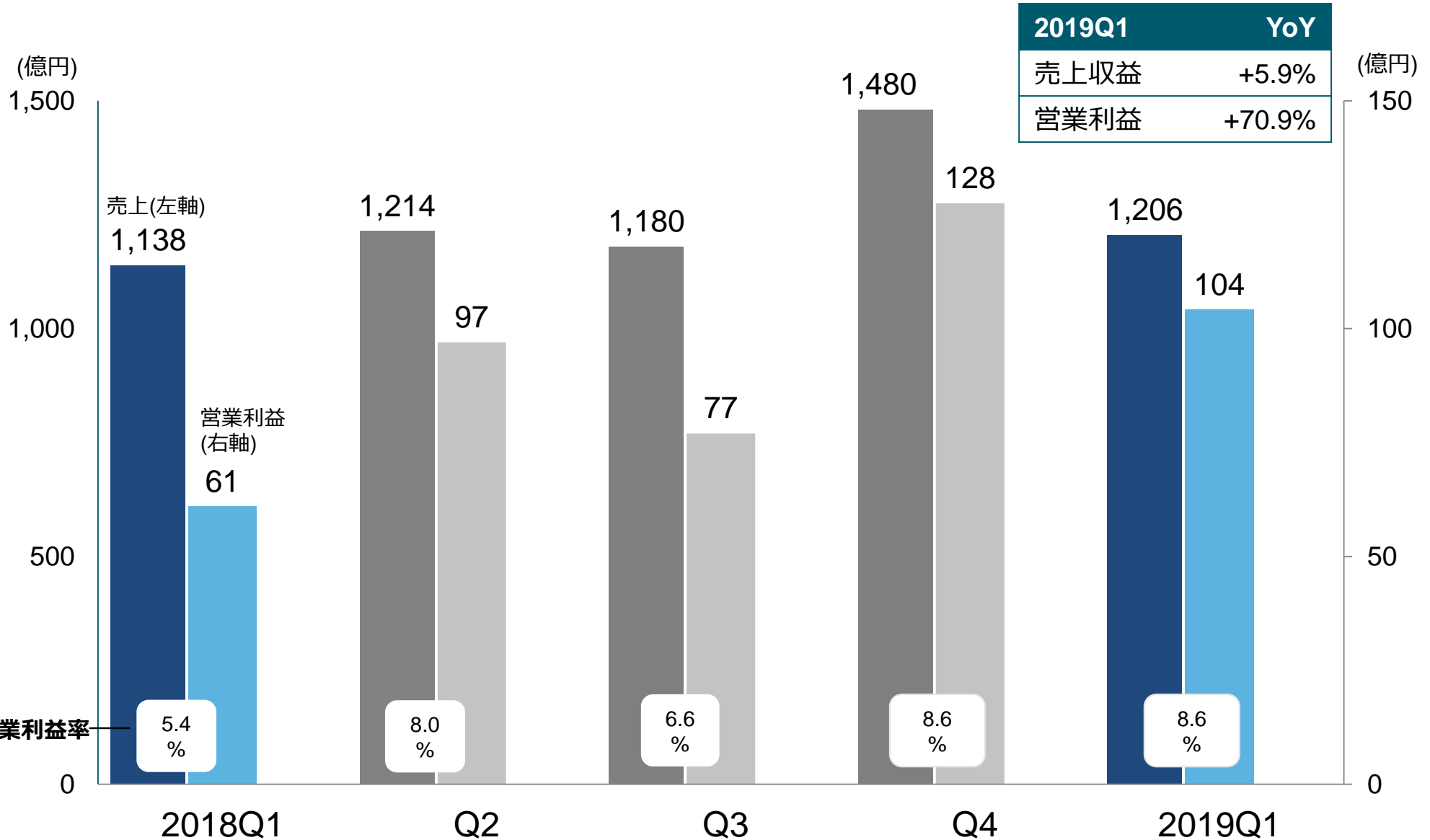
2. 事業環境

3. トピックス

- ✓ ドイツフロンテンオープンハウス、インドIMTEX、中国CIMT
- ✓ 自動化・デジタル化の進展
- ✓ アディティブマニュファクチャリングの強化
- ✓ 人材戦略

- ✓ 受注1,191億円（前年同期比19.9%減、前四半期比ほぼ横ばい）
- ✓ 売上高1,206億円（前年同期比5.9%増）、営業利益104億円（同70.9%増）
- ✓ 独フロンテンOH（1月）、印IMTEX（1月）、中CIMT（4月）等で自動化推進
- ✓ お客様への価値提供向上、1台当たり受注金額前年度比6%増
- ✓ 補修部品のデリバリー、修理復旧の迅速化進展
- ✓ フリーキャッシュフロー黒字継続。Net Debt778億円(前年度末：828億円)

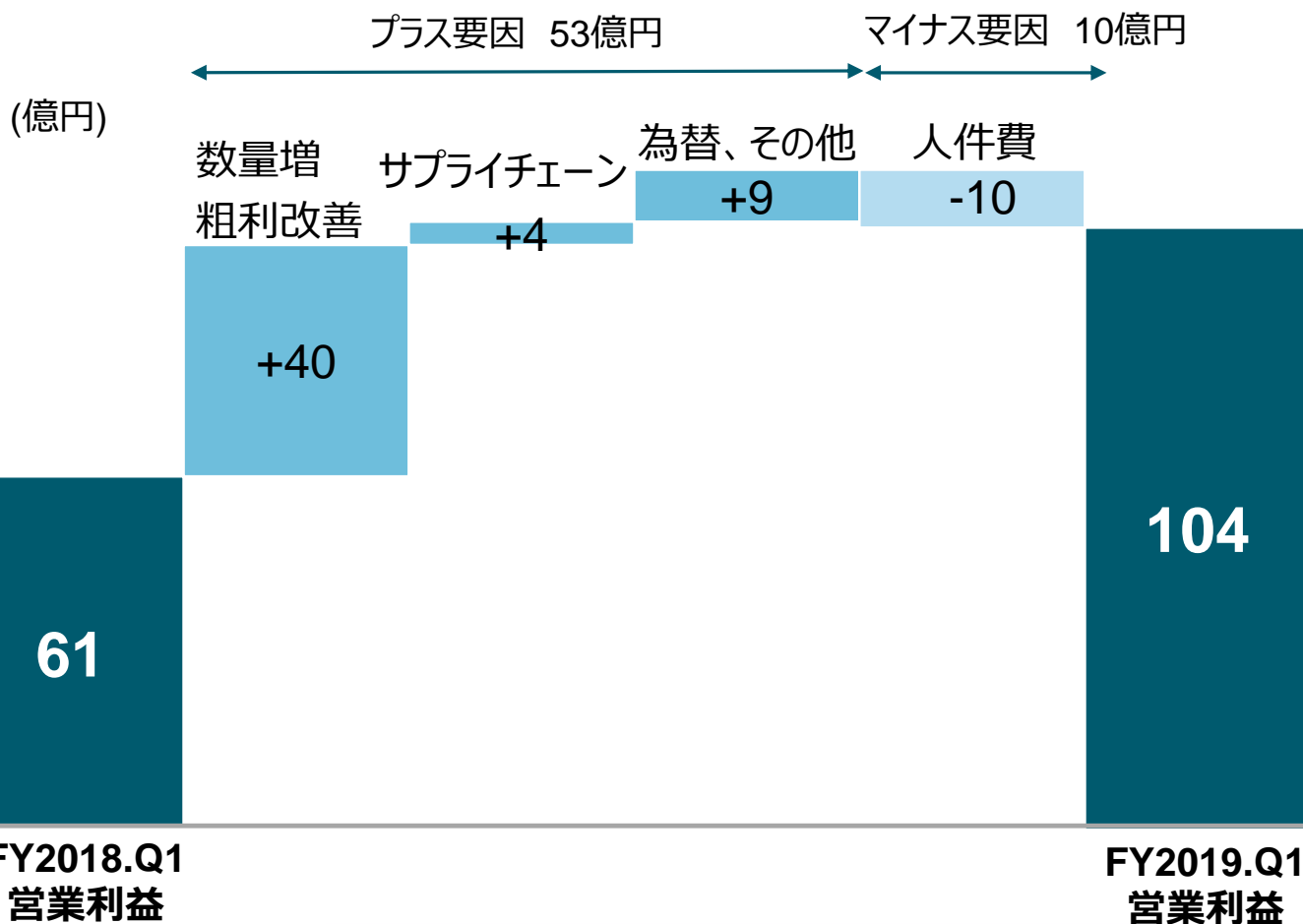
(億円)	1-3月		増減	通期 (1-12月)	
	2018年	2019年	(%)	2018年実績	2019年予想
全社受注	1,486	1,191	-19.9	5,312	—
売上収益	1,138	1,206	+5.9	5,012	5,000
営業利益	61	104	+70.9	363	360
営業利益率	5.4%	8.6%		7.2%	7.2%
金融収支	-12	-16		-52	-60
(内、ドミネーション・アグリーメントに伴う 経済補償額)	(-5)	(-9)		(-25)	(-35)
税引前利益	50	88	+78.6	313	300
当期利益	29	64	+116.8	194	200
親会社所有者帰属利益	28	62	+120.6	185	190
償却費(リース含む)	—	55		—	233
償却費(リース除く)	45	43		185	185
設備投資額	30	31		193	190
(内、無形固定資産)	9	7		55	
USD/JPY	108.3	110.2		110.4	110.0
EUR/JPY	133.2	125.2		130.4	125.0



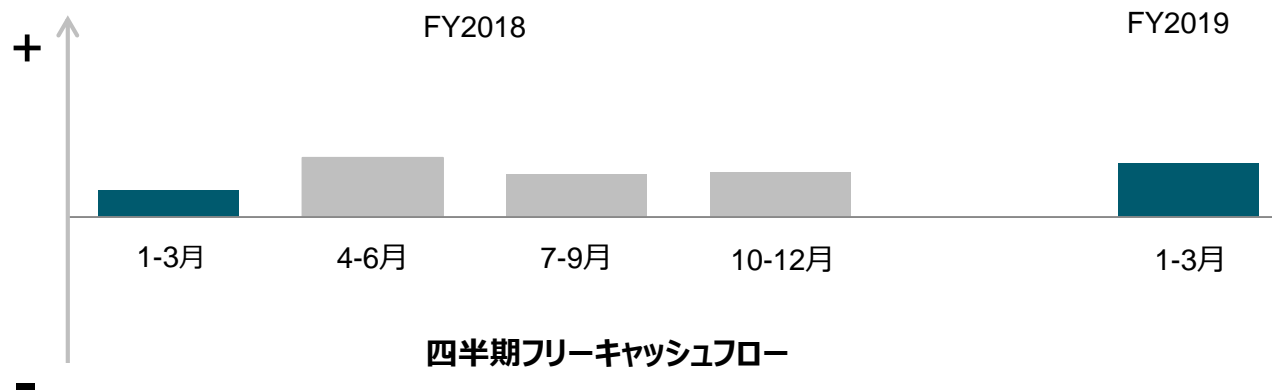
営業利益増減分析 -2018年度 Q1 VS 2019年度 Q1

(億円)	FY2018.Q1	FY2019.Q1	増減
売上高	1,138	1,206	+68

	FY2018.Q1	FY2019.Q1
為替レート：USD/円	108.3	110.2
EUR/円	133.2	125.2



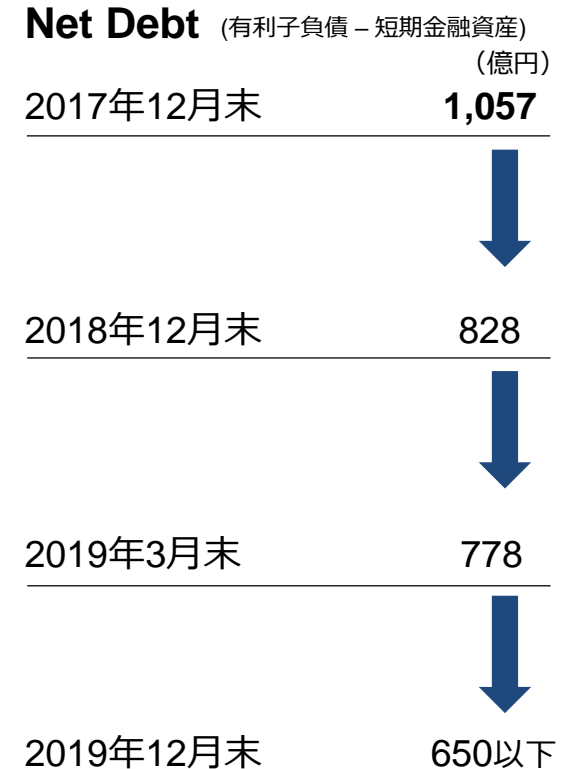
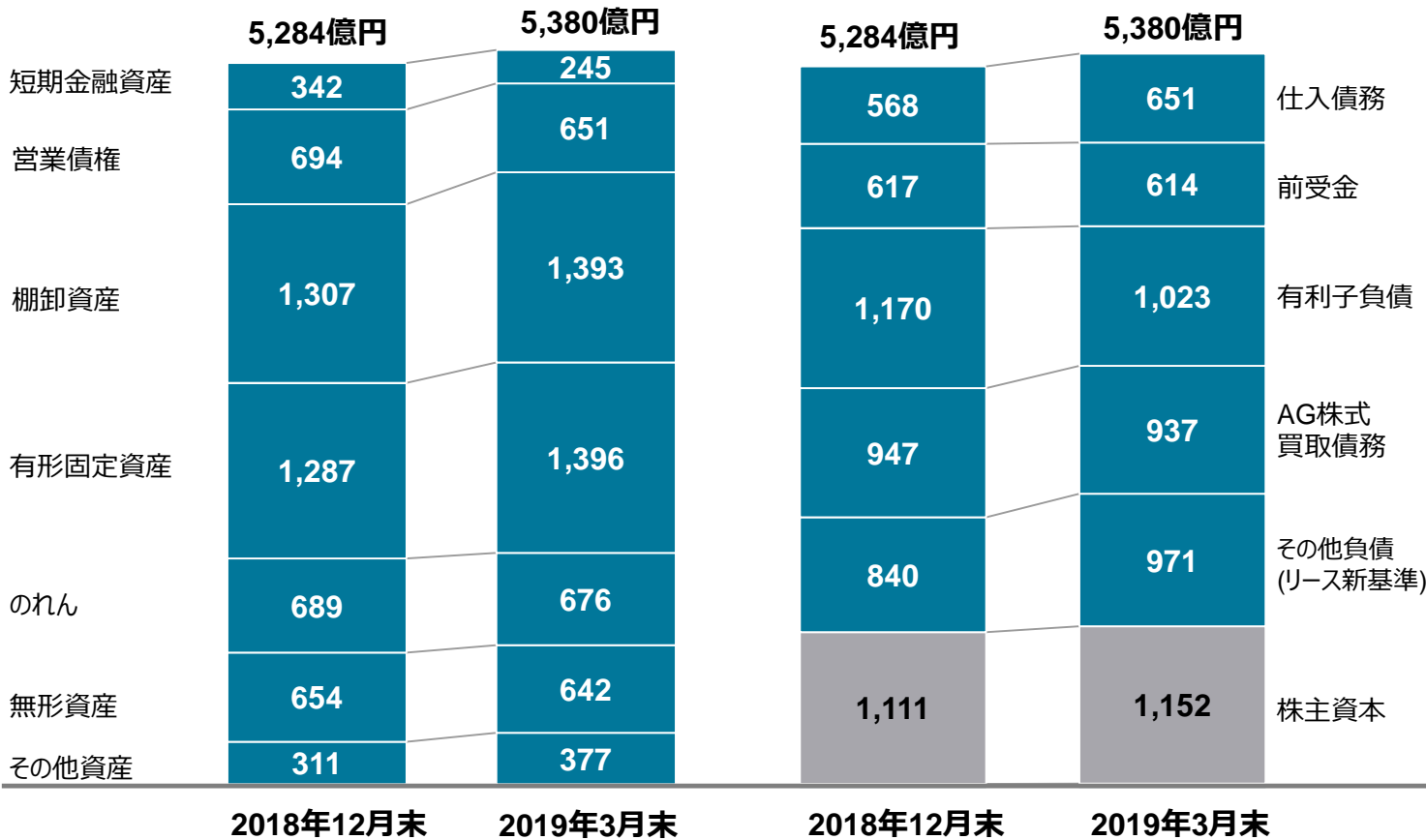
(億円)	FY2018					FY2019
	Q1	Q2	Q3	Q4	FY	Q1
営業キャッシュフロー	78	135	105	175	494	130
税引前四半期利益	50	87	65	112	313	88
償却費	45	45	45	50	185	55
運転資本増減	58	18	-3	-27	46	35
その他	-75	-15	-1	40	-50	-48
投資キャッシュフロー	-32	-31	-30	-97	-190	-36
(うち有形・無形資産 取得支出)	-30	-37	-32	-93	-193	-31
フリーキャッシュフロー	47	104	75	78	304	94



貸借対照表サマリー ーリース会計の影響により総資産が増加

資産の部

負債・資本の部

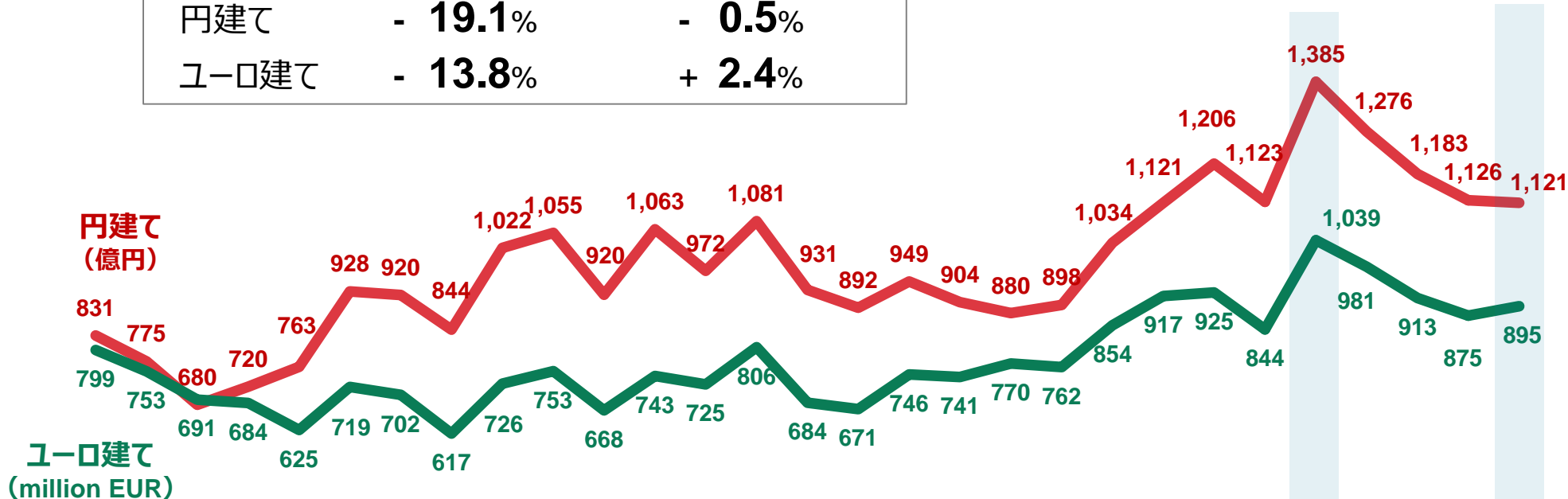


AG負債資本合計(百万EUR)	2,381	2,425
期末EUR/JPYレート	127.0	124.6

オペレーティングリース、不動産賃貸借契約をオンバランス処理

	増加	減少	概算影響額
B/S	<p>使用権資産 + 193億円 (適用前からのファイナンスリースによる資産計上額 26億円)</p>		+167億円
P/L	<p>減価償却費 + 12.1億円 支払利息 + 0.7億円</p>	<p>賃借料 -12.5億円</p>	影響軽微

	前年1-3月比	前年10-12月比
円建て	- 19.1%	- 0.5%
ユーロ建て	- 13.8%	+ 2.4%



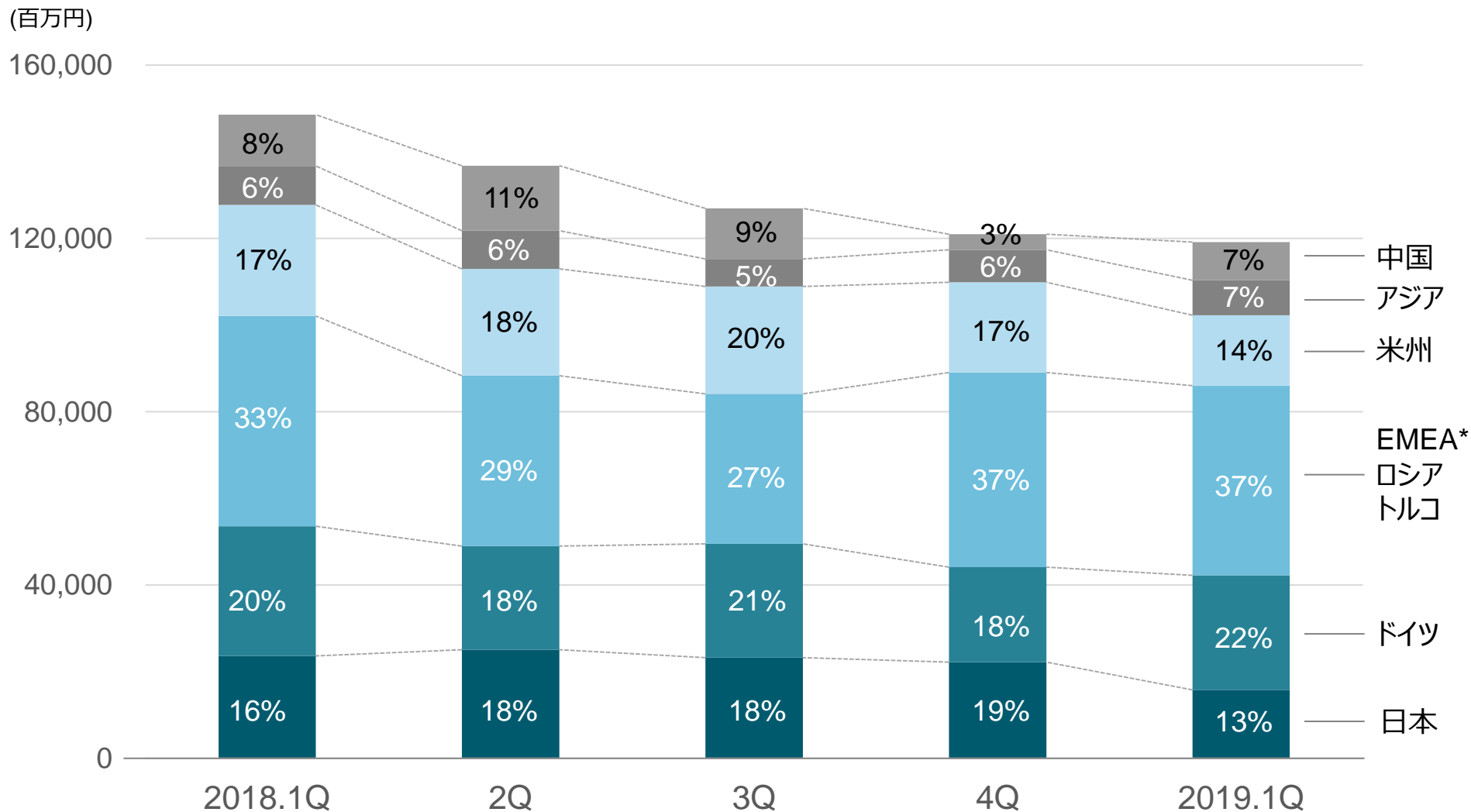
為替 (円)

USD
EUR

Quarter	USD	EUR
Jan-Mar FY12	79.3	104.0
Apr-Jun FY12	80.2	102.9
Jul-Sep FY12	78.6	98.4
Oct-Dec FY12	81.2	105.3
Jan-Mar FY13	92.4	122.0
Apr-Jun FY13	98.8	129.0
Jul-Sep FY13	99.0	131.1
Oct-Dec FY13	100.5	136.7
Jan-Mar FY14	102.8	140.8
Apr-Jun FY14	102.2	140.1
Jul-Sep FY14	103.9	137.8
Oct-Dec FY14	114.5	143.1
Jan-Mar FY15	119.1	134.2
Apr-Jun FY15	121.4	134.2
Jul-Sep FY15	122.2	136.0
Oct-Dec FY15	121.5	133.0
Jan-Mar FY16	115.5	127.2
Apr-Jun FY16	108.2	122.0
Jul-Sep FY16	102.4	114.3
Oct-Dec FY16	109.3	117.8
Jan-Mar FY17	113.7	121.1
Apr-Jun FY17	111.1	122.2
Jul-Sep FY17	111.1	130.4
Oct-Dec FY17	113.0	133.0
Jan-Mar FY18	108.3	133.2
Apr-Jun FY18	109.08	130.07
Jul-Sep FY18	111.47	129.63
Oct-Dec FY18	112.9	128.8
Jan-Mar FY19	110.2	125.2

地域別受注構成 (連結受注)

※金額ベース

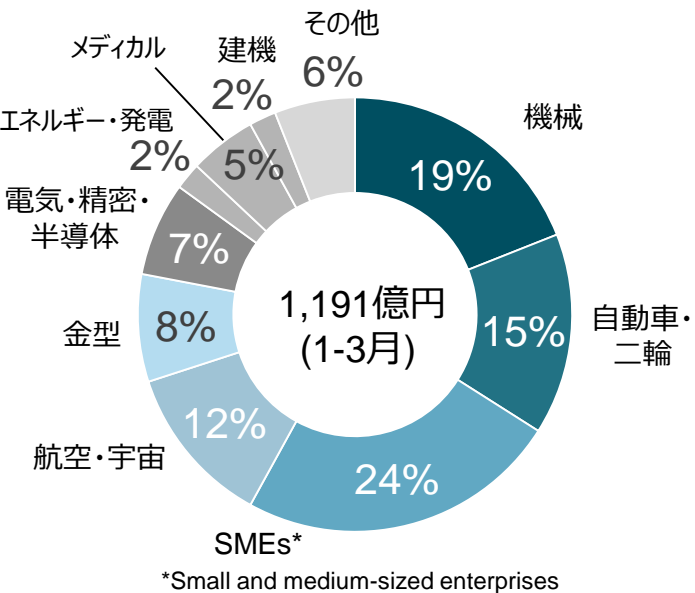


*Europe, the Middle East and Africa

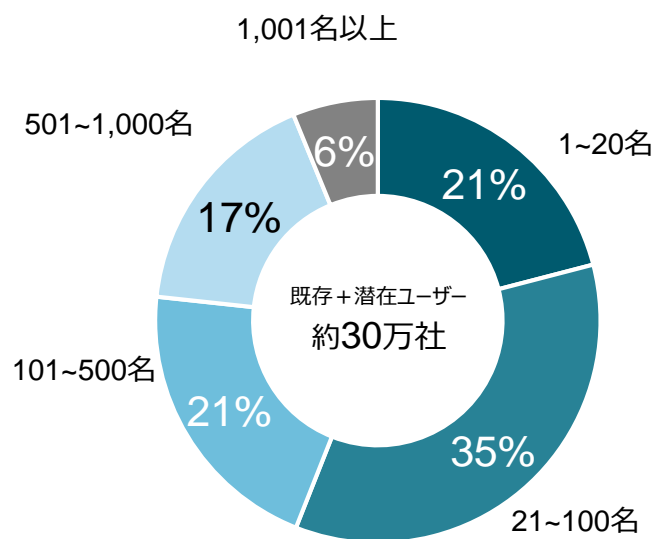
※金額ベース

FY2019.1Q

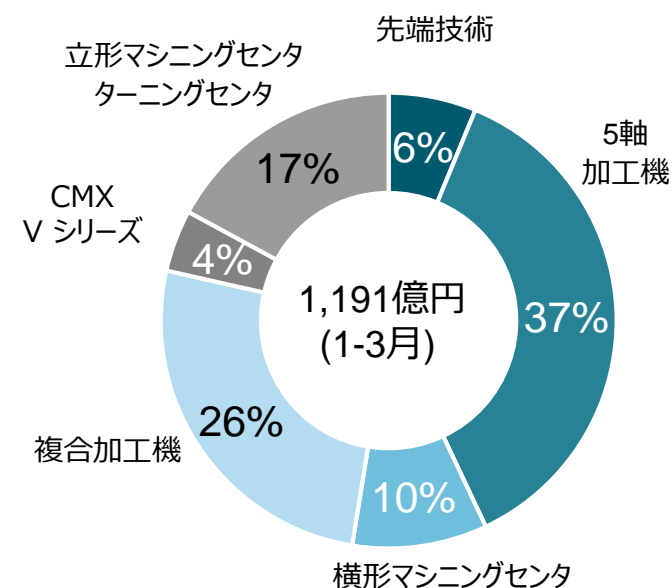
業種別



規模別



機種別



1. 第1四半期決算概要

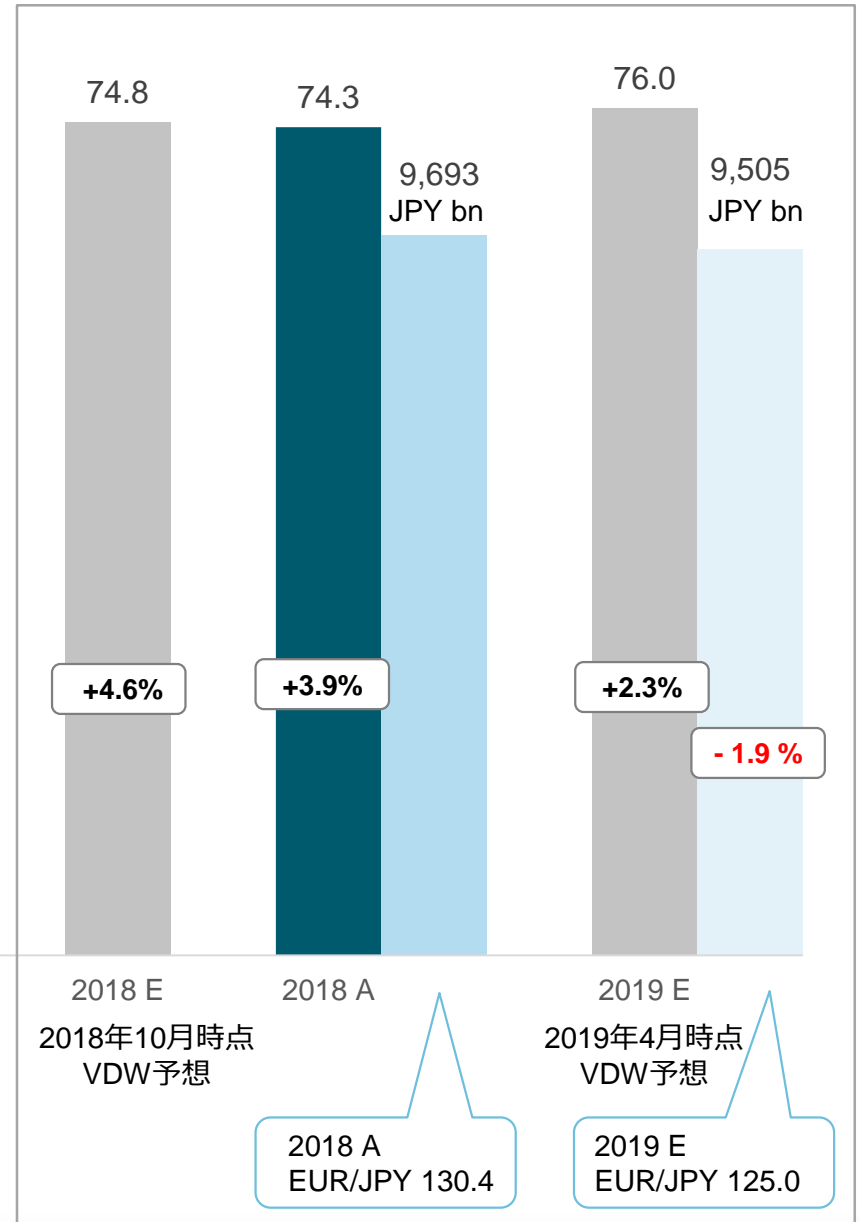
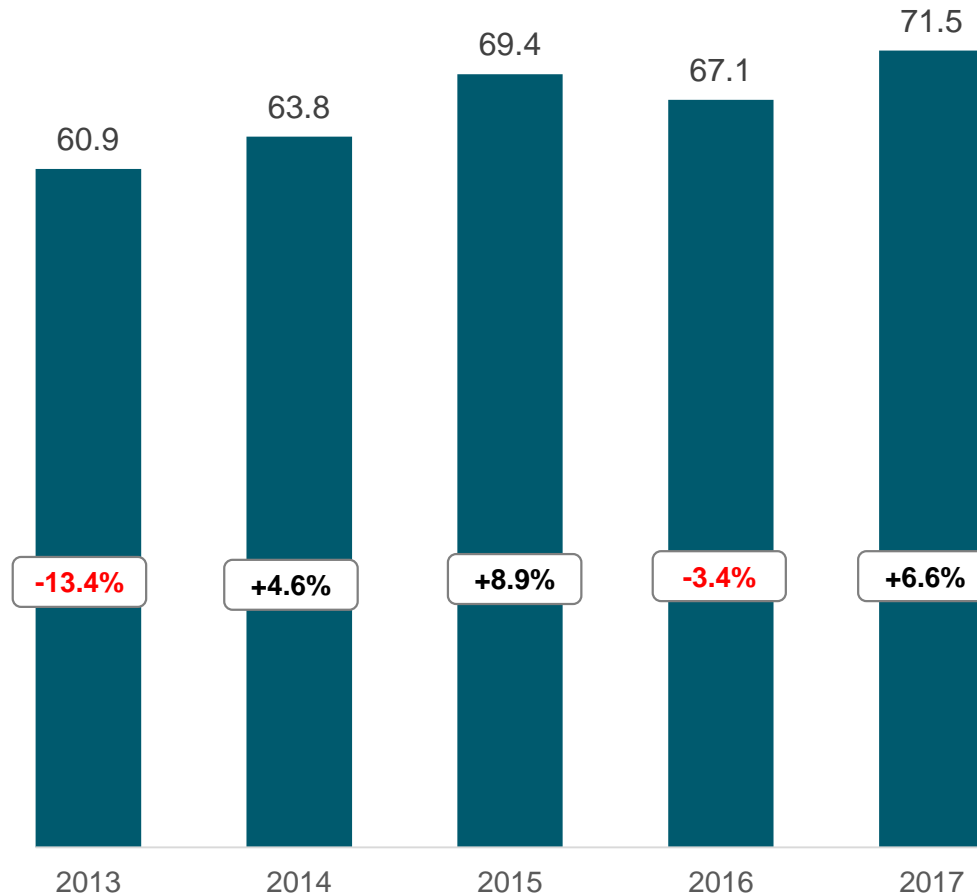
2. 事業環境

3. トピックス

- ✓ ドイツフロンテンオープンハウス、インドIMTEX、中国CIMT
- ✓ 自動化・デジタル化の進展
- ✓ アディティブマニュファクチャリングの強化
- ✓ 人材戦略

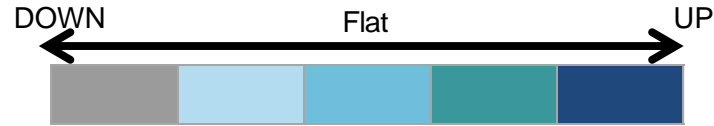
2019年度工作機械需要予測

(EUR bn)



* 出所: VDW / Oxford Economics, Apr. 2019をもとに当社作成

地域



FY2019.Q1

日本



欧州



米州



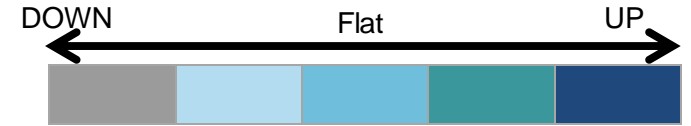
中国



アジア
(除、中国)



業種



FY2019.Q1

機械



自動車



SMEs



航空機



金型



IT/外口



IT/IT



医療



建機



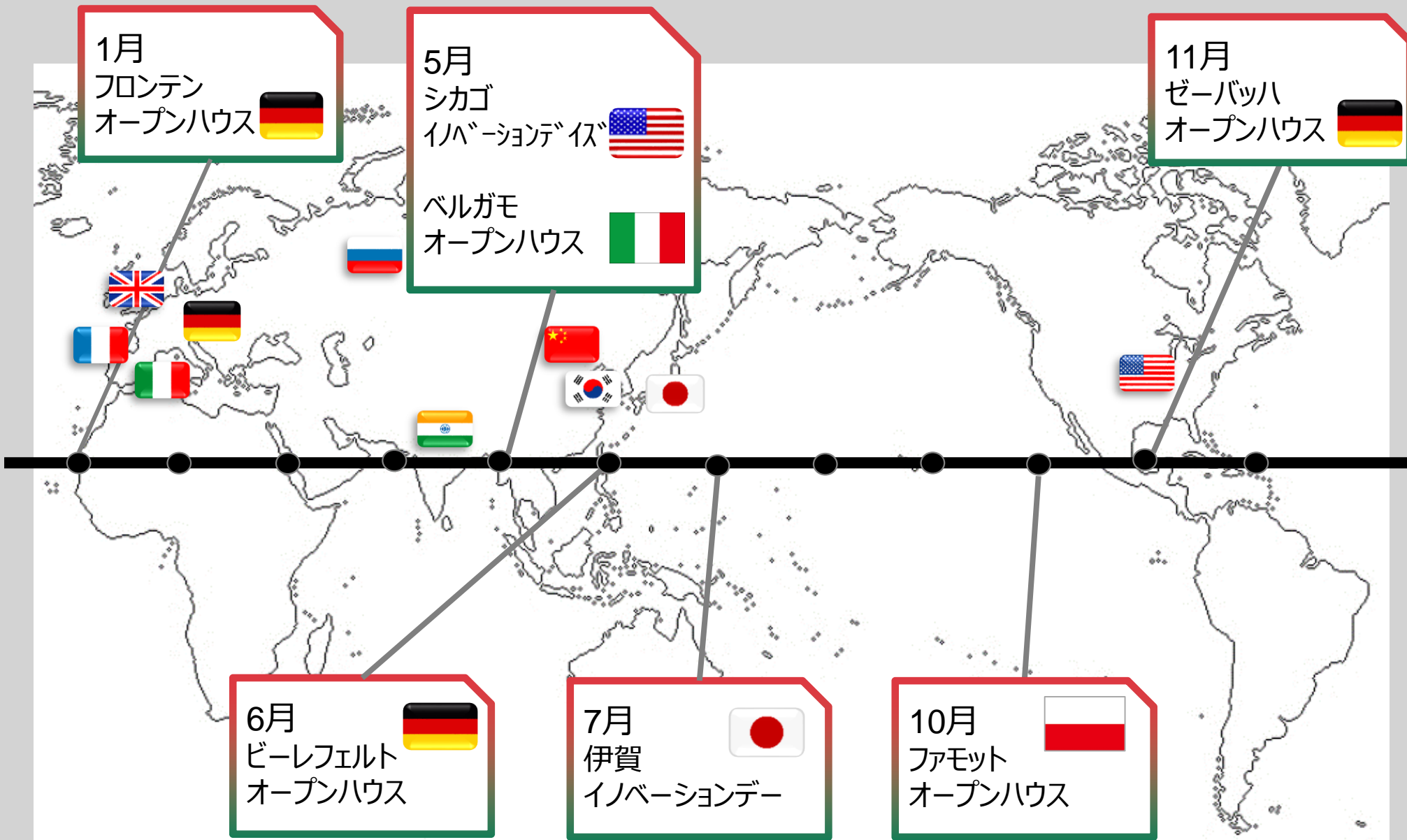
1. 第1四半期決算概要

2. 事業環境

3. トピックス

- ✓ ドイツフロンテンオープンハウス、インドIMTEX、中国CIMT
- ✓ 自動化・デジタル化の進展
- ✓ アディティブマニュファクチャリングの強化
- ✓ 人材戦略

2019年度の主な展示会予定（自社拠点開催）



1/22-26 フロンテンオープンハウス
自社拠点で8,000名余に最新技術を披露



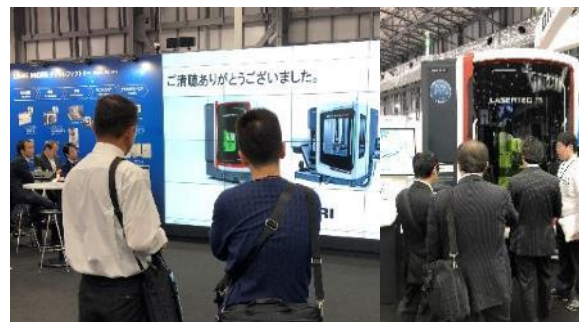
1/23-28 IMTEX(ベンガルール)
航空機業界から強い引合い



4/15-20 CIMT(北京)
自動化とハイエンド機需要の掘り起こし



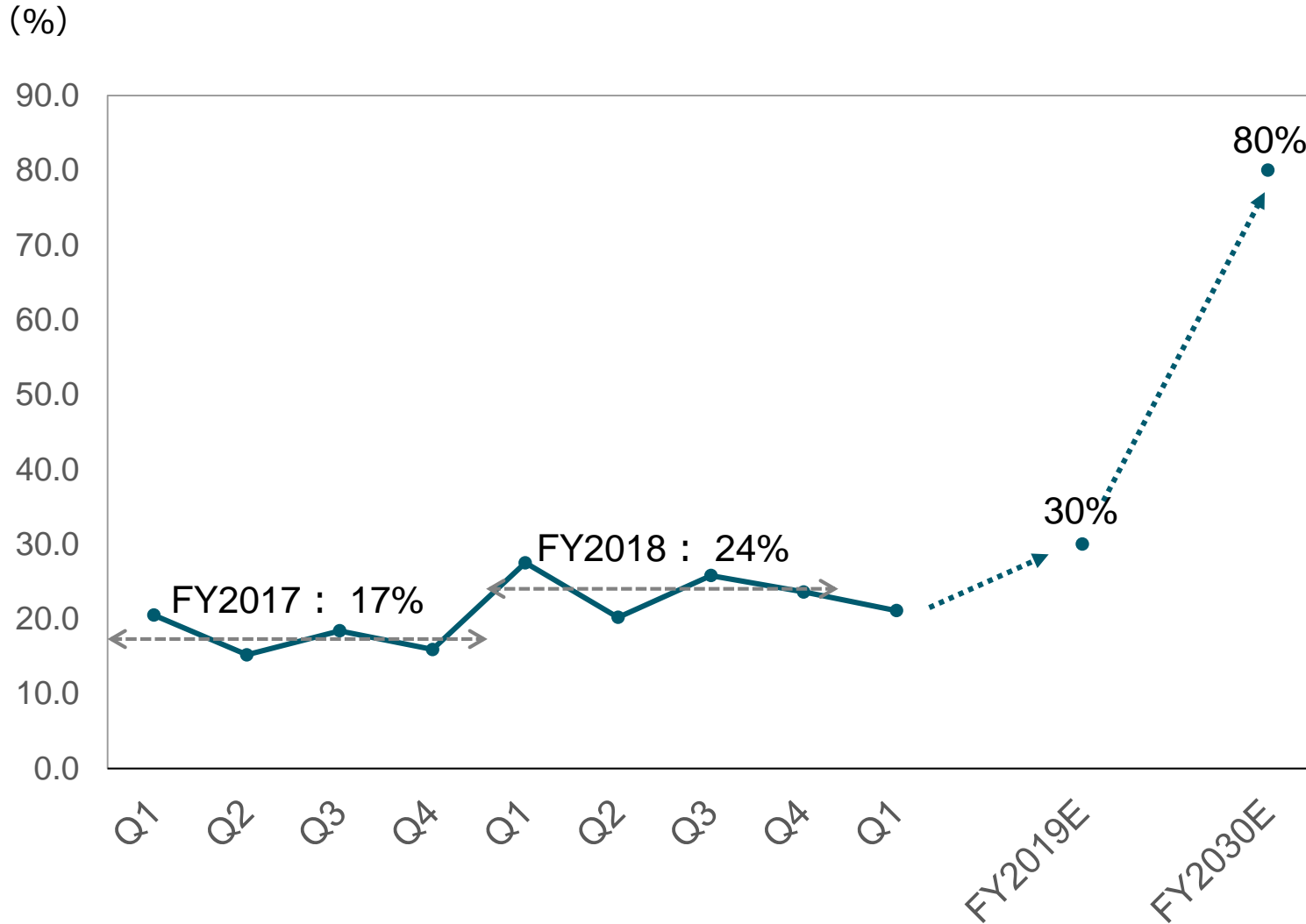
4/17-20 インターモールド2019 (東京)
「金型における加工技術の融合 (5軸、レーザ) 」







GX7 + ALX 2500
Gantry Loader System



Robo2Go 2nd Gen



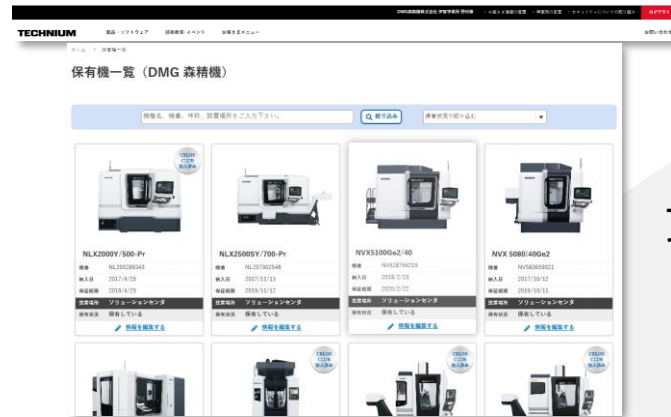
GX 7
Gantry loader



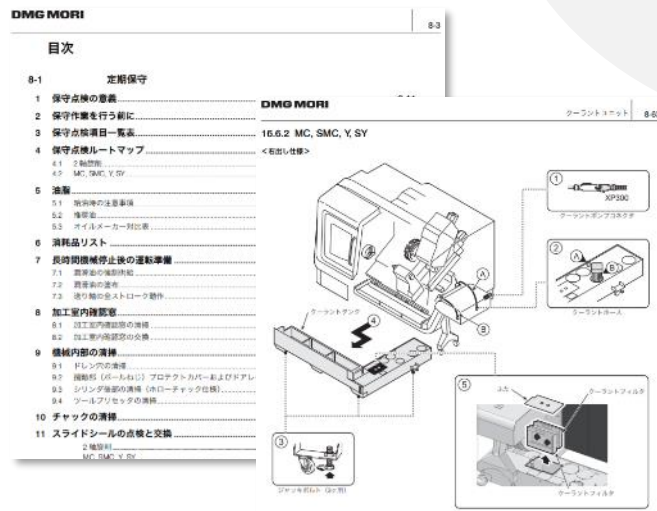
RPS21
Rotary pallet storage system

TECHNIUM

オーナーズWebサイト（保有機情報一覧）

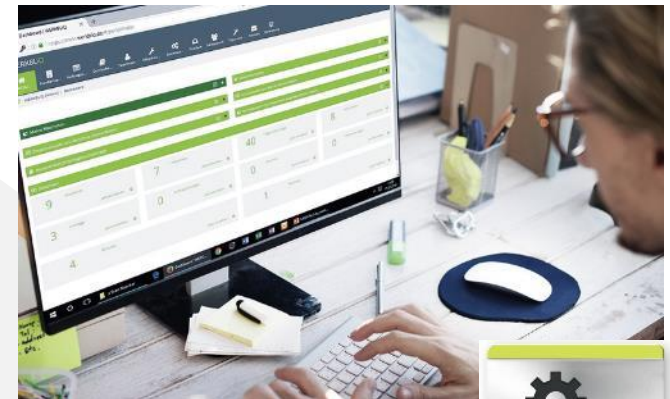


電子マニュアル



WERKBLiQ

予防保全



プライベートアカウントサービス
トレーニングサービス

CELOS

協業でグローバルデジタル
サービスを加速



ADDITIVE MANUFACTURING

with powder bed and powder nozzle
from one single source = DMG MORI



NEW!

LASERTEC 12 SLM

LASERTEC 30 SLM
2nd Generation

MATERIAL CHANGE
< 2h



rePLUG

Additive Manufacturing Excellence Center in Bielefeld

- + Ramp-Up support for our customers
- + Manufacturing of own components



2019年4月1日より初任給を改訂

機械・プラントセクターの2020年新卒人気ランキング第5位（日経マイナビ調査）

学歴	改訂前 ~2019年3月	改訂後 2019年4月~
博士	316,200	340,000
修士	234,700	260,000
大学	218,400	250,000
短大・高専	202,100	220,000
高校	185,800	190,000

NIKKEI・マイナビ2020

●機械・プラント

順位	企業
1	三菱重工業
2	クボタ
3	IHI
4	アソノノロミ
5	DMG森精機
6	ダイキン工業
7	アマダグループ
8	日本精工
9	コマツ
10	日鉄エンジニアリング

東海	
順位	企業
1	トヨタ自動車
2	一番工務店
3	デンソー
4	アイシン・エイ・ダブリュ
5	アイシン精機
6	数島製作所(Pasco)
7	ブラザー工業
8	リゾートホテル
9	中部電力
10	ブラザー販売
11	中部国際空港
12	フジパングループ本社
13	豊田通商
14	名古屋鉄道
15	井村屋グループ
16	豊田自動織機
16	ミツカングループ
18	ススキ
18	名鉄観光サービス
20	スギ薬局(スギ薬局グループ)
21	オリバー
22	豊島
23	トヨタホーム
24	中京テレビ放送
24	DMG森精機
25	興和
27	愛知銀行
28	ヤマハ
29	ヤマハ発動機
30	ネクステージ

*ネクステージは2020年卒調査から本社所在地の登録を東京都から愛知県に変更した

* 出所: 2019年4月9日 日本経済新聞朝刊

当資料には、当社の目標、計画などの将来に関する記述が含まれております。
これらの将来に関する記述は、
当社が現在入手している情報に基づく判断および仮定に基づいております。
今後の経営方針転換、外部要因の変化により、将来的に実際の業績と大きく異なる可能性があります。
なお、不確定性および変動可能性を有する要素は多数あり、以下のようなものが含まれます。

- 為替相場の変動
- 当社が営業活動を行っている市場内における法律、規制及び政府政策の変更
- タイムリーに新商品を開発し、市場に受け入れられるようにする当社の能力
- 当社が営業活動を行っている市場内における政治的な不安定さ
- 独禁法等関連する法規制又はその所轄当局による運用の変更